

1. 幼稚園の保育目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ 神様が創造された子どもたちは愛されるべき大切な存在であるというキリスト教の価値観を基盤とした教育と保育 ・ 環境を通して行う教育と保育の「3つの柱」 <ol style="list-style-type: none"> 1 豊かな感性を育てる 2 健やかな心と体をつくる 3 優しい心、思いやりの精神を養う
--

2. 本年度の学校評価の具体的な目標や計画

<p>評価項目に沿って、自己点検・自己評価を実施することにより、クラス経営の見直しや新たな課題に取り組んでいく。同時に教員の研修会参加促進、園内研修を行い、保育の質の向上に努める。 幼児理解に基づいて、保育の再構成をする。</p>

3. 評価項目の達成および取り組み状況

評価項目		結果			理由
I 保育計画	1.園の保育方針・保育目標を理解し共感している	A 15	B 13	C	<p>各クラスと連携し季節や子供の成長、興味に添って計画をたてられているとおもう。指示の内容を正確に把握してサポートできるように取り組みたい。</p> <p>神様から愛されていると言う事を大前提に保育を進めるよう意識している。</p> <p>具体的には四季折々の自然を感じられるように外遊びを中心に計画している。</p> <p>担任の保育者が立案した保育目標にそった保育ができるように努めています。</p> <p>年間保育計画に沿って進められているか、今一度しっかり確認し合うことが必要と感じる</p>
	2.園の保育目標は施設や地域の特色を活かしている	A 14	B 14	C	<p>担任の先生が作ってくれたものを見ながら計画を立て、個別の月案などでその子その子に合った保育計画で進めていっている</p>

	3.園の保育目標は社会の要望や保護者の願いを反映している	A 12	B 15	C 1	<p>担任の計画に基づき、担任の意向を確認しながら、保育するように努めている。そのために情報共有や報告、相談を密にしている。</p> <p>担任の週案を元にその時その場所での、子供たちとの必要な関わりかたを考え、安心して過ごすことが出来る様に配慮するようにしているが、全体の中でどこまで一緒にできるのか、いつもまよいつつも、楽しいが感じられるように常に心がけている</p> <p>毎月の職員会議や保育会議で園長や牧師、各クラスの担任保育者の話を聞く中で、子どもへの関わり方、自分の保育を振り返ることができた。</p> <p>時期によっては行事が多くひとつひとつをこなしていく日々のように感じる。もっとゆったりと子どもたちに関わり、じっくりと活動を行えるような計画を立てることができたらと思う。</p>
	4.園の保育目標について全職員で共通理解を図っている	A 8	B 19	C 1	<p>コロナウイルス感染予防を行うことで計画通りに行かず、実践できていないことを痛感している。臨機応変に今できることを計画に基づいて行う努力はしている。</p> <p>食育の活動は、年間を通して行事や旬、地産地消や安心安全を心がけて計画しています。</p> <p>各クラスと連携し、子どもの成長に沿って計画立てられている。食育活動は年間を通して、地産地消や安全安心を心がけている。四季折々の自然を感じられるような活動内容を中心に立案している。年間保育計画に沿って進められているか今一度確認が必要と感じる。</p>
II 保育実践	1.園の保育方針を理解して実践しようとしている	A 14	B 14	C	<p>子供主体の遊びを意識し改善していきたい。</p> <p>担当先生から役割分担など明確に指導して頂けるので、他の先生方と共有しながら言葉や気持ちを大切に接するように心がけている。</p> <p>子供たちへの声掛けが上手く出来ていないので努力したい。</p> <p>未経験の活動が多くあるため子どもの様子を見ながら保育実践をする必要があり、柔軟な計画や個別対応をするよう考慮した。</p> <p>機嫌よく、安心して園生活を送れるように常に考えた。</p>
	2.年間保育目標を意識して保育に取り組んでいる	A 7	B 20	C 1	<p>クラスの保育者と共通の意識を持ち保育をしていけるように、そのときに自分が気づいたこと、反省点などは口に出していくようにしています。</p> <p>子どもたちに寄り添った保育は展開されている。更に保育者一人一人自発的な資質向上の為の学びと、そこから実践へ活かすことに平日頃より意欲的な姿勢を定着できること目指したい</p> <p>個々の性質や発達段階を把握し、それぞれに合った対応を心がけている。ありのままを受け入れることで、こどもが保育者に安心して身を委ね、心が通い合う関係を目指し日々保育している。</p> <p>支援の必要な子との関わりが中心になる中で、親も子どもも安心し</p>

	3.年齢ごとの保育目標を常に意識して行動している	A 13	B 14	C 1	<p>て、楽しくすごせることを1番に考えて関わりを持つように努めている。</p> <p>担任が作成した週案のねらいに沿って保育するように心掛けている。</p> <p>1年間の見通しをもち日々保育を行っているがコロナウイルスの影響で行事が延びて、行事への取り組み中心になってしまい、修正を空き時間やすき間時間で活動子ども達の自主性を伸ばしたく考える力が育つよう関わるように気をつけた。</p> <p>また、配慮の必要な園児には個別の配慮をしながらクラスの仲間として大切にすることで子ども達も大切に関わってくれる姿が見られる。</p> <p>クラス補助の立場では、担任や他の職員と常に情報交換をしながら、子ども達が何を求めているかを気づけるよう考えながら実践にあたっています。</p>
	4.素材・用具を適切に活用し保育している	A 11	B 16	C 1	<p>子どもが機嫌よく安心して園生活を送られるように、柔軟な計画や個別対応を考慮した。個々の特性や発達段階にあった対応を心がけた。要支援の子どもとの関わりに十分配慮した。週案のねらいに即した保育を心がけている。担任や他の職員と情報交換をしながら保育にあたった。子どもたちに寄り添った保育が展開されている。個々の保育者の自発的な資質向上に向けた意欲的な学びの姿勢が更に促進されると良い</p>
Ⅲ環境づくり	1.子どもの発達を促すための環境づくりを心掛けている	A 16	B 11	C 1	<p>色々な教材や遊びを準備し子供主体の楽しい空間を作ると共に、安全、衛生にも気を付けていきたい。</p> <p>保育に地域の自然や社会環境の関わりは切り離せない重要なものですから、小動物のふれあいなどができる機会があると良いと思いました。</p> <p>危険を予測し、保育者間で共通理解をはかりながら環境作りを務めた。</p> <p>コロナ対策などにも対応できた。</p> <p>危険はないか、清潔に保たれているかを意識しています。</p> <p>子供たちが安心して好きな遊びを楽しめるように考えています。</p>
	2.常に遊具や教具の安全確認を行ない、定期的に清浄・消毒している	A 17	B 10	C 1	<p>反省として、充実させられなかった預かり保育の体制を次年度は整えていきたい。</p> <p>保育者たちの煩雑になりがちな事務的作業の緩和、保育に専念できる環境づくりを改善していく。</p> <p>小さい子供たちなので危険なものがないか、危険な場所はないか、確認しながら環境を作ることを心がけている</p> <p>けがのないように、またのびのび身体を動かせるように環境づくりに常に配慮している。また月齢や年齢、個々の発達段階によっても変わる</p>

	3.子どもの姿を見ながら計画的に、時に臨機応変に環境づくりを行なっている	A 18	B 9	C 1	<p>ることを頭に置きながら保育している。当園は職員間の関係も良好で温かく和やかな雰囲気がこどもにも伝わっていると思うので、今後も続けていきたい。</p> <p>子どもたちの遊びが展開していけるよう、さりげなく場面設定をしたり、ゆったりできる場所づくりをしたり、まわりに危険がないかを常に意識するようにしている</p> <p>0歳児クラスは床でハイハイしたり寝転んで遊んだり、玩具は何でも口に入れるので、室内の清掃から触るところの消毒は毎日まめに行っている。抱っこや食事介助をする自分自身の手洗い消毒、衛生面に気を付け、風邪の蔓延防止に努めている。</p>
	4.保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心掛けている	A 18	B 10	C	<p>コロナウイルス感染予防に務めた。</p> <p>常に感染症が広がらないよう心がけて、清掃や消毒をおこない、清潔な環境作りに取り組んでいます。</p> <p>危険を予測し、保育者間で共通理解を図りながら環境づくりに努めた。子どもたちが安心して好きな遊びを楽しめるよう考えている。月齢や年齢、発達の違いに配慮していた。遊びが展開していけるような場面を設定した。感染対策や衛生面に配慮し、清潔な環境づくりに努めた。職員の関係は良好で暖かく和やかな雰囲気を今後も続けていきたい。預かり保育体制の充実を図っていきたい。職員の事務作業効率化、保育に専念できる環境改善。</p>
IV 子どもへの関わり	1.一人ひとりを大切にして関わっている	A 22	B 5	C 1	<p>同じ学年の中でも、小さいクラスでは、個人差もあるので、担任の先生が行う日々の活動を、子供たちがそれぞれのペースで楽しめるよう、補助していきたいと思います。</p> <p>1人1人に寄り添い、その子にあった関わりをするよう心がけている。</p> <p>忙しくともしっかり声を聞き気持ちを受け止めていきたい。</p> <p>1人ひとりの思いを受けとめて保育するように心がけていきたいと思います。</p> <p>信頼関係を築く事を心がけている。</p> <p>子供の立場、子供の目線で子供との関わり方について常に考えています。</p>
	2.一人ひとりの思いを受け止め、その思いを実現させるよう努めている	A 18	B 9	C 1	<p>一人ひとりの様子を把握し対応する様に心掛け、保育者間で共通理解をし、対応策を考え実践を試みている。</p> <p>子供ひとりひとりの個性を大切にし、気持ちを理解し適切に関われるように考えています。</p> <p>時には自分の関わり方を振り返り、反省し次の保育に活かせるように努めたいと思っています。</p>

	<p>3.一人ひとりの子どもの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている</p>	<p>A 12</p>	<p>B 14</p>	<p>C 2</p>	<p>小さいがためにコミュニケーションが取りづらく、言葉でのやり取りはまだ難しい部分があるため、</p> <p>どのようなことを言いたいのか何を訴えてきているのかを考えながら機嫌を見ながら関わっている</p> <p>我が子が聖ルカ幼稚園で、愛され大切に育てていただいた感謝と安心感が根本にあり、自分が保育する立場となってからは、こどもに寄り添いたくさん触れ、ありのままを受け止めることで、それぞれの自己肯定感が高まり、他人のことも大切に想う気持ちが育ってほしいと願いを込めて保育している。</p> <p>支援の必要な子との関わりが中心になるなかで、親も子供も安心して、楽しく過ごせることを1番に考えて関わりを持つようにしている。</p> <p>一人ひとりしっかりと意思があり、泣いたり怒ったりして表現する気持ちを受け止めてあげるようにしている。まだまだ甘えたい年齢なのでその気持ちを十分に受け入れ、安心して過ごせるよう関わっている。</p>
	<p>4.一人ひとりの子どもの話を同じ目線で聞き、丁寧に関わっている</p>	<p>A 16</p>	<p>B 11</p>	<p>C 1</p>	<p>1人ひとりを大切にかかわり、子ども達の考え思いを尊重するように心がけた。</p> <p>配慮の必要な園児には個別に配慮しながらもクラスの仲間として活動できるよう考え友だちの協力を惜しまなく頼み仲間の一員となったのではと思っている。</p> <p>場面に応じて、こども達に今何が必要なのかを考えて関わるようにしています。</p> <p>極力一人一人の様子を把握するよう心がけている</p> <p>年齢が低いほど個人差が大きいので、それぞれのペースで楽しめるよう関わっていききたい。ここに寄り添えるよう心掛けている個々の思いを受け止めた保育に努めている。保育者間で情報共有、対応策を一緒に考えながら実践を試みている。言葉でのやりとりが難しい子どもについては、しっかり見て考えながら関わっている。要支援の子どもが安心して過ごせることを一番に考えて関わっている。子どもの自己肯定感が高まり、他人のことも大切に思う気持ちが育まれるよう願いを込めて保育にあたっている。個性を大切にし、気持ちを理解し、適切に関われるよう考えている。個別の配慮とクラスの仲間として活動できるよう声掛けや関りに努めている。</p>
<p>V 保護者対応</p>	<p>1.保護者に対して丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心掛けている</p>	<p>A 17</p>	<p>B 11</p>	<p>C</p>	<p>前年度のクラスの保護者の方々も、とても気さくにお話して下さるのが有難いと感じています。保護者の皆さんと直接お話する機会はそれ程ありませんが、そのような場面では、気持ち良くお子さんを預けて頂けるように心掛けていきます。</p> <p>職員が多いことで逆に1人1人と関わる機会が減り1日の様子が見えづらいことがある。</p> <p>片寄らないよう関わり保護者にしっかり子供の様子を伝えられるよう気を付けていきたい。</p> <p>直接、保護者との関わりは少ないのですが、笑顔で元よく挨拶する事を心掛けています。</p> <p>誰に対してもコミュニケーションを大切にしたい。</p>

	2.送迎時に子どもの姿を必ず伝えている	A 13	B 14	C 1	<p>保護者に対しても個別に伝えることが多かった。</p> <p>また、連絡帳のほかに必要事項はメモを渡す事でスムーズな部分があり良かった。</p> <p>丁寧な言葉遣いを心掛け、園での子供の様子が伝えられるようにしています。</p> <p>どんな状況でも丁寧な対応を心がけたい</p> <p>時間も決められているため、特定の保護者と直接関わることしかできないが、その時は1日の様子や怪我などがあった場合適切に対応するように心がけている、あとは連絡帳などで担任に代わり対応をすることも行なっている</p>
	3.保護者に子どもの伸びている所や課題を伝え、連携を取っている	A 9	B 17	C 2	<p>丁寧に日々の様子を伝えたり、家庭での様子を伺ったりすることで信頼関係を築いて、安心してお子様を預けていただけるように努めている。また担任とも密に情報を共有し、必要な場合には主任や園長に相談している。</p> <p>昨年度今年度コロナのためほとんど会う機会がなかったが、園で安心して過ごす子どもの様子から、保護者が安心して子どもを園に通わせてくれたらとの思いの中ですごしてきました</p> <p>勤務時間の関係で直接子どもの様子を保護者に伝えられる機会が少ないため、できるようになったことや日々の様子はまめに担任に伝えるようにしている。また、担任から保護者と話したことを教えていただけるので、その子の家庭での様子も知ることができた。</p> <p>コロナウイルス感染予防、2号園児の増加に伴い、満足行く対応ができてないと思う。1人ひとりの保護者には誠実に対応するように心がけた。</p> <p>保護者とのかかわる場面は少ないのですが、</p>
	4.来園者に対して自分から気持ちの良い挨拶をしている	A 19	B 9	C	<p>その日の様子は、頑張っていた事を中心に柔らかく話すようにしています。</p> <p>職員が多くなったことで、ここに係る機会が減った。関わりに偏らないようにしながら、子どもたちの様子を伝えられるようにしたい。笑顔で元気の良い挨拶を心がけている。コミュニケーションを大切にしたい。連絡帳の他に必要事項はメモを渡すことでスムーズだった。丁寧な言葉遣いを心がけ、園での子どもの様子を伝えるようにしている。家庭での様子も伺いながら、信頼関係を築けるように努めている。必要な場合には主任や園長に報告、相談している。直接保護者に伝えられない時は、他の先生に伝えてもらうようにしている。コロナウイルス感染予防、2号園児増加に伴い、満足ゆく対応ができなかった。保護者一人ひとりに誠実な対応を心がけた。その日頑張っていた子どもの様子を柔らかく伝えるようにしている。どんな状況でも丁寧な関りを心がけたい。</p>
VI 組織	1.提出物などの期限を守っている	A 15	B 11	C 2	<p>大事なお子さんをお預かりしていますので、その園の一員として恥ずかしくない振る舞いを心掛けていきたいです。</p>

の 一 員 と し て	2.他のクラスや園 全体のことに も気を配っている	A 10	B 17	C 1	<p>常に相手の立場にたち思いやりを持って過ごしていきたい。</p> <p>保育理念や保育方針を正しく理解し、自覚と責任を持って日々の業務に子供たちの為に力をあわせて取り組みたい。</p> <p>色々な場面で話をする事で保育者間の連携、他のクラスとの連携が昨年よりも取れていたように思う。</p> <p>これからも、組織の一員としての自覚を持ち務めたい。</p> <p>組織の一員として責任感を持ち、常に気持ちを引き締めて職務に就くようにしたいと考えています。</p> <p>帰属意識、園の理念を理解して、職員間で思いやり、労わりあうことに努めていく</p> <p>子供の個人情報には特に厳重に扱い、紛失がないようにしている</p> <p>協調性を大事にして心地よく働けるように努めている。何事も自身の独断で行動せず、担任、主任、園長に相談している。</p>
	3.必要な報告・連絡・相談を行なっている	A 13	B 13	C 2	<p>子供のことを一番に考え、自分の置かれている立場をしっかりと意識して、他の先生たちを振り回すことがないように、協力して理解しあって保育者として高め合っていけるように、これからも関わって行きたいと思う</p> <p>子どものことに関わらず、業務についてもその都度報告、連絡、相談することができた。他のクラスの手が足りないことに気付かないでいることが度々あるので、余裕のあるときは隣のクラスの様子を見て手伝いに行くなど臨機応変に動けるよう心がける。</p> <p>職員が気持ちよく仕事に向かえる様気配り、配慮を大切にできるように心がけた。</p> <p>気が着いたことは、なるべく園長先生や主任の先生に相談をしながら、幼稚園のためになるような行動を心がけています。</p> <p>園の一員ということを常に自覚する</p>
	4.個人情報の取扱いに注意している(USB/写真/連絡帳など)	A 24	B 3	C 1	<p>大事なお子さんをお預かりしているので、園の一員として恥ずかしくない振る舞いを心がけていきたい。常に相手に思いやりを持って過ごしていきたい。理念や保育方針を正しく理解し、自覚と責任を持って、子どもたちのために力を合わせて業務に取り組みたい。いろいろな場面で話をする事で職員間やクラス間の連携が昨年よりの取れていたように思う。常に気持ちを引き締めて職務に就くようにしたい。帰属意識、園の理念を理解して、職員間で思いやり、労わり合うことに努めていく。子どもの個人情報は厳重に扱い、紛失しないようにしている。協調性を大事にし、心地よく働けるように努めている。何事も自身の独断で行動せず、担任、主任、園長に相談している。子どものことを一番に考え、自分の置かれている立場をしっかりと意識して、他の先生たちを振り回すことが内容、協力して理解し合って保育者として高め合っていけるように関わって行きたい。子どものことも業務のこともその都度報告、連絡、相談することができた。臨機応変に動けるよう心掛けている。気配りや配慮を大切に心掛けた。気づいたことはなるべく延長や主任にそうだし、幼稚園のためになるような行動を心がけている。</p>

A	十分達成されている
---	-----------

◎「3. 4」の評価結果の表示方法

B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない

4. 本年度の学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	評価項目についての見直し、自己評価をすることで自身の振り返りができた。また、自分の課題を意識して改善に努めて次に繋げていった。子どもたちに寄り添い、愛情をかけて保育にあたることができた。全体的に子どもの特性を生かし、子どもたちの成長してほしい部分を考えて保育活動を進めることができた。職員間の共通理解を図っていった。保護者のニーズには十分対応できなかった預かり保育や参観の機会等は、今後の課題としてしっかり体制を整えていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
1号・新2号園児の預かり保育	職員増員して、体制を整える。パート職員の業務を柔軟にして、状況に合わせた働き方改革を行っていく。
業務の効率化	事務的な作業と保育のそれぞれが効率的に取り組めるよう、ICT化を導入できる環境整備の推進。
資質向上のための研修の充実	保育者の役割をしっかりと意識付けする。日々の保育のマンネリ化を防ぐため、研修会や学習会への参加を定期的に呼び掛ける。業務の効率化で研修に当てる時間を確保していく。
行事の見直し	子どもも保育者もゆとりをもって取り組めるように、子どもの成長に必要な内容と適切な時期を見直していく。
安全対策・安全点検	保育室の環境構成、保育玩具、遊具等々を定期的に点検するマニュアル作成。避難訓練に防犯（不審者侵入、危険物発見など）訓練や保護者引き渡し訓練を加える。